

児童園だより

第三号

平成二二年五月二九日発行

園長あいさつ

この三月、四名の社会への巣立ちと家庭へ戻った七名の異動で、平成二二年度は、三九名のスタートとなり、現在は四三名が在園しています。

先日、改修工事の竣工式には、松本市長さん、塩尻市、安曇野市の代表の方をはじめ、多くの関係者のご出席を仰ぎ、盛大に開催することができました。実に様々な立場で、多くの方々の温かなご支援があつてこそその思いを新たにいたしました。園目標である「みんな仲良く楽しく暮らそう」のスローガンと明るい園舎の下、笑顔と元気ある生活になればと念じております。

さて、五十周年に発刊された記念誌の表題は、「一歩二歩」でした。私も当時委員としてこの編集に携わり、二歩目は二一世紀への願いを込めたものであり、先人の思いを大切にし、新たな歴史を築いていきたいとの思いから名づけたものです。内容は、三代の園舎を基に、「高宮のくらし」「島内のくらし、その一」「島内のくらし、その二」の三部と在園児の明日へのメッセージで構成しました。メッセージを残した子ども達は、今回巣立った子も含め、そのほとんどが社会人として活動している者ばかりです。

今年は、六十周年の節目の年になるとともに、新たな生活環境の中、新しい一歩、記念誌の延長として考えるならば、「島内のくらし、その三」となります。

卒園式

今年も高校を卒業した子ども達が児童園から社会に巣立っていきました。三月二十日に、高校を卒業し児童園を卒園する子ども達の卒園式が行われました。

卒園生が着慣れないスーツを着て入場します。皆、凛々しい表



↑ 高校卒業式にて

情をしています。参加者全員で園歌を斉唱。その後来賓の方々からお祝いの言葉をいただきます。そして、園での思い出がいっぱい詰まったアルバムなどの記念品が贈呈されます。その後、卒園生の思い出の写真がスライドで流れ、この時に担当職員が卒園生ひとりひとりの児童園での思い出を振り返りつつ、新たな門出に向けてのメッセージを伝えます。そして、卒園生よりあいさつがあり、最後に園長先生から卒園生それぞれに言葉を贈ります。

卒園式では、入所した頃の様子、進学、進路を決める時の話など数分ではとても伝えきれない程の思い出が語られ、時折涙で言葉を詰まらせる場面もありました。最後に卒園生が退場していく後姿は、入所したところとは違う立派な姿でした。

入学式・入園式

今年も保育園・小学校・中学校・高校にそれぞれ子ども達が入学しました。今年も中学三年生全員が高校に進学しました。受験前の時期になると皆必死で勉強に励んでいました。その結果、全員が志望校へ進学できました。



↑ 小学校入学式にて



↑ 卒園式に引き続いて
の食事会にて

ユニット改修工事竣工式を挙行

昨年八月より大規模な施設改修工事を行い、予定していた工事が無事完了しました。五月六日に松本児童園ユニット改修工事竣工式を挙行しました。工事にご尽力いただいた多数の方々に出席していただき、完成した新園舎を披露することができました。





↑ 園舎本体の一室。今回の改築では
個室が大幅に増えました。



↑ ショートステイ棟 2 階の一室。
広々としたリビングとキッチンが
あります。



↑ 老朽化していたサッシを取り
替えるなどし、外観も新しく
なりました。



↑ ショートステイ棟 1 階の一室。幼
児さんはここで遊ぶことができる
他、バルコニーに出て遊ぶことも
できます。



↑ 新たに建てられたショートステイ
棟。1 階は新しい幼児寮、2 階は
ショートステイ用の居室。

以下、ごく一部ではありますが改築後の園舎を写真で紹介します。